

KAGG
SHIMMA
GAKU
RYU 2026

The image features a vertical arrangement of four lines of English text in a large, outlined, sans-serif font: 'KAGG', 'SHIMMA', 'GAKU', and 'RYU 2026'. Overlaid on this text is a calligraphic inscription in red ink. The calligraphy consists of four large characters, 'KAGG SHIMMA GAKU RYU', written in a bold, expressive style. The characters are positioned such that they overlap with the English text, with 'KAGG' and 'SHIMMA' on the first two lines, and 'GAKU' and 'RYU' on the last two lines. The red ink is a vibrant, slightly dark shade, and the brushstrokes show some texture and variation in thickness, characteristic of traditional calligraphy.

九州大学 経済学部経済経営学科 合格

「最高の玉龍生活」

永吉 脩斗

鹿児島玉龍中出身
卓球部

私は、玉龍高校で最高の3年間を過ごすことができました。玉龍高校は「文武両道」を掲げ、日々部活と勉強に励んでいます。私は、1日授業を受けた後に体を動かせる部活の時間が好きでした。練習で培った、自分に足りないものを探す力は、受験期の自己分析にとっても役立ちました。3年生になると、受験に向けてより勉強に集中することができました。朝・昼休み・放課後には安田ホールが自習室として開放され、分からないことがあればすぐに先生方に質問できる環境が整っています。

また、玉龍高校の大きな魅力として、中高一体となった学校行事があります。昇龍祭・体育祭・玉中戦など、中学生と一緒に迫力のある行事を楽しめるのは玉龍ならではの魅力です。

私は、このような素晴らしい環境で3年間を過ごせたからこそ合格出来たと思います。先生方や友人たちの大きな支えや、玉龍での思い出のおかげで困難を乗り越えることができました。玉龍高校は、夢と希望に満ち溢れた皆さんを全力でサポートしてくれます。皆さんも「チーム玉龍」の一員として、最高の3年間を過ごしてみませんか？



鹿児島大学 医学部医学科 合格

「玉龍という環境を生かす」

大脇 美桜

鹿児島玉龍中出身
弓道部・写真部

私は玉龍でとても充実した生活を送ることができました。玉龍は勉強はもちろんですが、部活動などとの両立もでき、様々なことにチャレンジできる学校です。また体育祭や昇龍祭などの学校行事も常に活気があり、それらの行事を通して仲間との絆を深めることができます。ぜひ皆さんには玉龍という最高の環境を活かしてほしいです！

勉強面では、それぞれの進路に対して先生方が真摯に向き合ってくださいます。私は夏休みの頃まで部活をしており、受験期間に入るのが遅かったのが初めは心配なことでしたが、質問や添削、面接など多くの先生方が熱心に指導してくださいました。また、仲間と励まし合いながらそれぞれの進路に向かって勉強することで第一志望校に合格することができました。

また、私は部活動に所属しながらボランティア活動や国際交流事業にも参加しました。それらの活動は普段の授業では学べないことを学べるいい機会であり、仲間と1つの目標に向かって切磋琢磨した日々や、地域の人や海外の人と交流した経験は私にとってかけがえのないものです。

玉龍は、個性豊かな仲間たちと共に自分の目標に向かって進んでいける場所です。ぜひ、玉龍で最高の高校生活を送ってください！



東京大学 文科一類 合格

「玉龍で夢を追う」

宇都 陽音

鹿児島玉龍中出身
書道部

玉龍高校では、生徒それぞれが夢や目標をもち、学習や部活、課外活動に日々真剣に取り組んでいます。それぞれの分野で努力し続ける友達からの刺激は、新しい分野に挑戦したり、自分の目標に向かう姿勢を向上させたりする、よいきっかけとなります。

また、玉龍生は、友達の目標に理解を示し、互いに応援し合っています。私の進路目標を達成する過程は決して簡単なものではなく、辛いこともたくさんありましたが、支え合える友達と出会えたから、乗り越えることができました。

そして、玉龍には、そんな夢を追う私たちを全力で応援しサポートして下さる先生方がいます。私は、高校1年生の頃から、各教科の先生に1対1で添削指導をしていただいていた。受験の際は、生徒一人ひとりをよく見てくださっている先生方だからこそできる応援の言葉が、とても力になりました。

玉龍は、自分自身の可能性を大きく広げ、夢を実現することのできる環境です。皆さんも、玉龍高校で、夢や目標を全力で追いかけてみませんか。



筑波大学 情報学群 知識情報・図書館学類 合格

「充実した玉龍での高校生活」 迫田 れんげ 天保山中学校出身 演劇部

私は玉龍で、とても充実した3年間を過ごすことができました。

玉龍には中学生と高校生、中入生と高入生だけでは区別できないほどの、様々な考え方や夢を持っている生徒たちが集まっています。いろんな生徒や先生方とクラスや部活で話し合ったり切磋琢磨したりすることで、多様性を理解したり自らを育んだりすることができました。

特に私が所属していた演劇部では、生徒だけで脚本も衣装も道具も準備し、劇を良くするためにたくさん話し合ったので、演劇未経験だった私も自分の意見を伝える力や表現力が鍛えられ、自分の成長に繋がったと思います。

また大学受験においても、3年の夏まで部活を一生懸命やりながら、先生方や周りで一緒に頑張っている同級生たちのおかげで、前期では合格できなかった志望大学に後期で合格することができました。後期に関しては、小論文が苦手でありかつ中期も受験していたという時間がなかった私でも合格できる基準まで上げてくださった先生に、感謝の気持ちでいっぱいです。

勉強も部活も全力で取り組み、様々な人と関わることができる玉龍高校で、あなたも学んでみませんか？



鹿児島大学 教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース・技術 合格

「玉龍プライド」 大原 伊織 顕娃中学校出身 バレーボール部

私は玉龍高校で充実した3年間を送ることが出来ました。玉龍では他の高校とは異なり中高一貫校ならではの行事があります。例えば、中学生に勉強を教えるという「玉龍郷中」という行事があります。それに参加した際に、中学生と学ぶ楽しさを知り、自分の理解を深めることができました。

また、玉龍では部活動が盛んに行われています。私はバレーボール部に所属していました。玉龍は他の高校よりも練習時間が短いという少し不利な点があります。しかし、その短い練習の中で生徒たちが主体となり、練習の質を日々高めています。部活動に全力で打ち込めた3年間はかけがえのない宝物となりました。

学習面では玉龍の先生方は私たち一人ひとりの進路に向けてそれぞれのペースに合わせ、なんでもサポートして下さいます。授業内容に関する質問や添削指導等を、先生方は私たちが理解するまで丁寧に、そして熱心に教えてくださいます。だから、勉強に関して心配はいりません。

学習、部活動、学校行事。このように環境が整っているのは玉龍ぐらいだ、と誇らしく思っています。これが私の「玉龍プライド」です。

皆さんも、自分だけの「玉龍プライド」を胸に、3年間の青春を「玉龍」で楽しんでみませんか。



周南公立大学 人間健康科学部 スポーツ健康科学科 合格

「すべてに本気で楽しむ」 松元 一真 福平中学校出身 ラグビー部

私は高校からこの歴史ある地で学び始めました。玉龍高校は玉龍中学校からの入学者と高校からの入学者が交わるのが一番の特色だと思います。特に体育祭や昇龍祭は中高関係なく玉龍全体が一つにまとまり最高に盛り上がります。また、生徒は「文武両道」を目標に掲げ部活動や勉学に毎日全力で取り組んでいます。

私が伝えたいことは、これらの行事を「本気で楽しむこと」です。そして、部活動や勉学、課外活動等のきつく辛いことも仲間と支え合いながら全力で取り組める環境が玉龍にはあるということです。私は、ラグビー部に所属し、全国大会出場を目指し3年生の11月まで部活動に励みました。受験も近づく中、先生方や後輩たちが私たち3年生を全力で応援してくれました。大会が終わった後は、先生方が私たちの進路実現のために熱心に指導をしてくださいました。その結果、第一志望の大学の合格を勝ち取ることができました。

このように玉龍は先生方が生徒一人ひとりのことを様々な面で支えてくださります。だから生徒は何事にも本気で挑戦することができます。かけがえのない一生の3年間で、この最高の学び舎で友や先生方と本気で楽しんでみませんか。



来たれ！ 夢の舞台・鹿児島玉龍へ！



鹿児島玉龍高等学校長

Kawakami Takahiro
川上 隆博

皆さんが社会の担い手として生きる21世紀は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代とも言われています。

このような社会にあって、新たな国際社会を構築していくためには、「4C」と言われる以下の4つのスキルを身に付けることが重要とされています。

- 批判的思考 (Critical Thinking)
 - ・ どうしてこうなるのか、本当にこの考え方でいいのかという批判的、客観的な視点で物事を考え続ける。
- コミュニケーション (Communication)
 - ・ 対人関係において互いの意思疎通を円滑に進める。
- コラボレーション (Collaboration)
 - ・ チームプロジェクトで役割を分担し、互いの強みを活かしながら他者と協働して目標達成に取り組む。
- 創造性 (Creativity)
 - ・ 独自性が高く斬新であり、生産性が高い発想を生み出す。

鹿児島玉龍は、これら4Cを伸ばす様々な特色あるカリキュラムが組まれており、主体的に行動する個性豊かな生徒が、時に励まし合い、時に切磋琢磨しながら自己の夢実現に向けて日々学んでいます。その姿はまさに校訓にある「潑刺、躍動、玲瓏(玉のように輝くさま)」そのものです。

鹿児島玉龍は生徒一人ひとりの夢の実現を全力で応援する学校です。さあ、皆さんも本校で希望に満ちた未来への第一歩を踏み出しましょう！

由緒ある学舎



本校の校舎が建っている敷地は、かつて薩摩藩時代の名刹であった「玉龍山福昌寺」が500年の歴史を刻んだ跡です。この福昌寺は旧藩主島津家の菩提寺であったと同時に、藩内随一の学問所として教育・文化の一大中心を成していました。明治維新の原動力になった先人達も、指導を受けています。この由緒ある史実にあやかり「行学一体」の鍛錬精神と「文武両道」の精神を本校教育のよりどころとし、その象徴として校名が「玉龍」と制定されたのです。平成2年、創立50周年記念事業の一つとして新体育館が建設されましたが、その発掘調査のとき、寺門にあった場所から中央部のへこんだ大きな踏み石が出てきました。それを見ていると、わらじ履きのすずやかな目をした若い学僧たちが、行脚のために出入りする様子が目に浮かんでくるようです。

本校は、このような学問の場にふさわしい環境のもとで、偉大な先人の精神を台木に青少年の心を接ぎ木し、新しい時代の教育の殿堂にしようと、鹿児島市が創立した普通科の高校です。

自覚に裏打ちされた自由な校風

昭和15年創立の鹿児島市立中学校と鹿児島市立高等女学校を前身とし、昭和25年鹿児島県玉龍高等学校、昭和32年に鹿児島玉龍高等学校と改められ、潑刺・躍進・玲瓏の校訓のもとに、発足した男女共学の学校です。

校名の「玉龍」は「玉龍山福昌寺」の跡に創設されたことに由来し、「玉」を中心に龍舌蘭三葉をもって包む校章は、玉の如き円満な人格と昇竜の如く躍進、向上する若さを象徴するものです。

令和2年に創立80周年を迎えた本校では、その間に培われてきた「文武両道」を合い言葉に、日々心身を鍛練し、知識を磨き、活気あふれる学校生活を生徒たちは送っています。一人一人の個性を大切にしながら各人の可能性を最大限に伸ばすために、学習環境の整備はもちろんのこと、学び方を学ばせるという基本方針のもとに、若いエネルギーを燃焼させています。混沌とした思考を重ねているうちに、機が熟せば先が見通せるようになるということを信じつつ、日々躍進している玉龍なのです。

現在の制服



鹿児島市立中学校



鹿児島市立高等女学校(鶴嶺高等女学校)



校訓：潑刺・躍進・玲瓏

校章



進路実現のために

「人生は選択の連続である」と言われますが、普段生活している中で私たちは様々な選択をしています。そのほとんどは些細な選択の連続かもしれませんが、今中学3年生の皆さんは大事な選択の時を迎えようとしていますね。

最適な選択をするためには、確かな知識と経験が必要です。しかし、それだけではまだ不十分です。様々な情報を整理し、状況に応じた的確な思考力や判断力も求められます。これは高校での学び、そして次に控える大学入試にも必要不可欠です。そのためにも、確かな知識と経験を基に自分の考えを根拠とともに表現し、「自ら考える」習慣をつけることが大切です。

みなさんの高校選択の最適解が、ここ玉龍であることを祈っています。

さて、玉龍高校は、創立以来のモットーである「文武両道」の実践と充実を図りながら、生徒一人ひとりの個性を大切に、これまで培ってきた人格と学力のさらなる向上を目指している学校です。

多くの生徒が大学進学を目標とし、授業や自宅学習で学力をつけ、放課後は県大会上位入賞、全国大会出場を目標に部活動に取り組んでいます。真の「文武両道」の実現は簡単なことではありません。しかし、玉龍には「チーム玉龍」という言葉があります。困難に直面したとき、くじけそうなとき、まわりには共に同じ目標に向かって頑張っている仲間がいる、それをサポートする先生がいる、支えてくれる家族がいる、そんな玉龍生を応援するすべての人が「チーム玉龍」です。



進路指導主任
松元 拓也

玉龍高校では、進路実現のために、次の5つのことに一生懸命取り組むことを生徒に求めています。

- 1 予習・授業・復習のサイクルの確立 授業が一番大切
- 2 規則正しい生活習慣の確立 起床・自宅学習開始・就寝の時間を一定に
- 3 学習習慣の確立 課題を確実にこなす
- 4 わからないときはすぐに質問 積極的に行動していこう
- 5 志望校の研究をする 目標を具体的に知る

どれも当たり前のことです。受験勉強に特別なことは必要ありません。その学年、その月、その週、その日の学校の授業や行事、そして宅習に一生懸命取り組めば、着実に学力が付き、志望する大学に合格できます。三者面談や二者面談の時の担任の先生からの指摘や助言を謙虚に素直に真面目に受け入れて学力向上に努めることが進路実現には欠かせません。ただ、当たり前のことを当たり前にするには相当の自律心が必要なのも事実です。したがって、受験勉強は頭だけでなく、心を磨くチャンスでもあるのです。「受験」という知的冒険を経験し、心を磨く場所、それが玉龍高校です。高校受験で心を磨き、さらに素敵な人格へと成長したみなさんが、「チーム玉龍」の一員に加わり、ともに夢の実現を目指すことができるのを楽しみにしています。

令和7年度入試国公立大学 合格者数 125名

東京大学	1名	九州大学	6名
一橋大学	1名	熊本大学	7名
京都大学	3名	・薬学部薬学科	2名
筑波大学	3名	鹿児島大学	53名
大阪大学	2名	・医学部医学科	4名
		・歯学部歯学科	1名

国立大学 101名

北海道教育大学	1名
山形大学	1名
山梨大学	1名
東京学芸大学	1名
東京農工大学	1名
電気通信大学	1名
滋賀大学	1名
大阪教育大学	1名
和歌山大学	1名
鳥取大学	1名
広島大学	1名
愛媛大学	1名
高知大学	1名
九州工業大学	3名
福岡教育大学	2名
佐賀大学	1名
大分大学	1名
宮崎大学	4名
琉球大学	1名

公立大学 24名

旭川市立大学	1名
都留文科大学	2名
長岡造形大学	1名
静岡文化芸術大学	1名
大阪公立大学	2名
公立鳥取環境大学	1名
県立広島大学	2名
周南公立大学	4名
山口東京理科大学	1名
福岡県立大学	1名
北九州市立大学	2名
長崎県立大学	1名
熊本県立大学	3名
宮崎県立看護大学	2名

私立大学 315名

青山学院大学	4名
中央大学	2名
上智大学	5名
津田塾大学	1名
東京理科大学	1名
明治大学	2名
立教大学	3名
早稲田大学	4名
同志社大学	4名
関西大学	1名
関西外国語大学	8名
近畿大学	8名
関西学院大学	2名
西南学院大学	7名
福岡大学	40名
志學館大学	20名
鹿児島国際大学	43名
鹿児島純心大学	7名
その他	153名

合格者数は過年度卒生を含みます



前期

4

入学式
一日遠足
スポーツ交歓会

5

勸学祭
生徒総会
生徒会役員選挙
定期演奏会

6

昇龍祭(文化祭)

7

クラスマッチ

8

9

体育祭

10

芸術鑑賞会

11

長距離走大会
マタデイ高校との交流

玉龍文化の祭典「昇龍祭」

令和6年度の昇龍祭テーマは『最高の仲間と最高の青春を』でした。この言葉には仲間とともに過ごす青春がかけがえのない宝物であるという気持ちが込められています。生徒会を中心として生徒たち自身が作り上げる玉龍昇龍祭は毎年熱気に溢れ、見どころ満載。

多くの方に来校いただき、好評を得ています。各学級・有志・部活動単位での参加があり、ステージ・展示発表・バザーなど、個性豊かな発表の場となっています。

玉龍で国際交流!!

玉龍高校は「真の学力をもち、国際社会に対応できる生徒」の育成を目指しているため、たくさんの国際交流の機会があります。Stanford e-Kagoshima CityプログラムでStanford大学専任講師によるオンライン授業を受けたり、姉妹校のマタデイ高校の生徒たちを受け入れて一緒に授業を受けたりしています。令和6年度は本校からマタデイ高校に生徒を派遣しました。





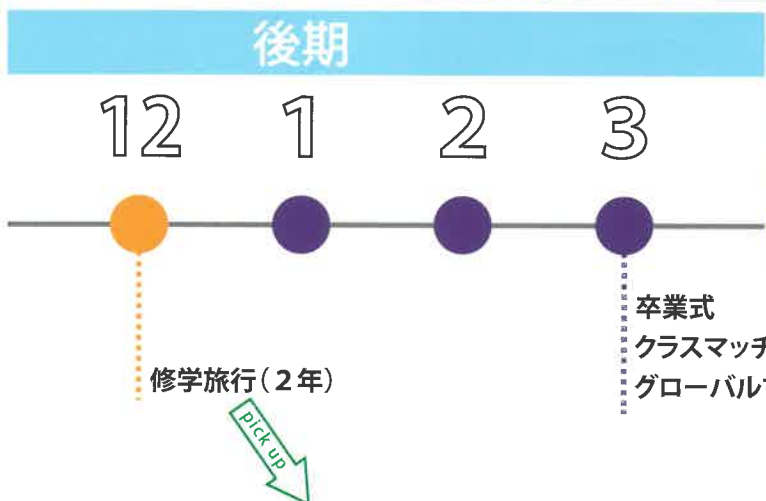
国内体験学習 修学旅行（関西）



昇龍祭（文化祭）



スポーツ交歓会



長距離走大会（桜島）



グローバルマインド発表会

国内体験学習 修学旅行

平成27年度から令和元年度までは国外体験学習として台湾に3泊4日の日程で訪問していました。その後の令和2年からは行き先を国内へ変更し、現在は、伝統ある日本文化を継承している京都・奈良の文化遺産に触れながら学習を深め、生きた教養の育成を目指しています。また、日本へ留学している学生とSDGsについてのディスカッションプログラムもあり、国内にいながら国際交流体験をすることができます。現在の日本文化や経済が異文化との共生にあることや、世界が抱える問題について、地球規模でその解決策を考えることができるため、グローバルな視野を拡大させる機会としています。さらに、班別の自主研修では、日ごろの学習の成果を試すことができるだけでなく、今後の意欲ある学校生活や将来の進路設計に役立つ発見があることでしょう。

グローバルマインド発表会

高校1・2年生を中心に、総合的な探究の時間（玉龍の設定教科名は「グローバルマインド」）の研究発表を行います。

グローバルマインドとは簡単にいうと「地球上に生きる人間として持つべき生きる姿勢・モラル」のことです。具体的には以下の4点と考えていいでしょう。

- (1) 基本的自己表現法を学び、積極的にかつ正確に自分の考え・意思を表現できる。
- (2) 基本的自己表現技法の中でも、特に文章による表現の導入を図る。
- (3) 現代社会の諸問題をグローバルな視点でとらえ、今後の国際社会のあるべき姿を主体的に考える。
- (4) 進路研究を通して、自己理解を深め、将来の自己のあるべき姿を主体的に考える。

週1回のグローバルマインドの時間では、課題別コースごとの研究活動、卒業生や知識人による講演会などを通じて、プレゼンテーション能力や、小論文といった自己表現能力を、培っていくことを目標にしています。

玉龍高校の設備

玉龍高校は近年増改築が進み、敷地内に充実した設備がたくさんあります。勉学に励む教室にはエアコンが完備され、それぞれ2つある体育館とグラウンドは行事や部活動でフル活用されています。玉龍高校には生徒たちの行学一体を支える充実した設備が備わっています。



第2グラウンド



教室はエアコン完備



図書館は蔵書数2万冊以上

交龍館

平成19年に完成した交龍館には、玄関ホールに作品鑑賞ができるギャラリー、2つの少人数用の学習室と、放課後自習が可能な多目的スペース「安田ホール」があり、生徒たちの多様な学習をサポートしています。



安田ホール

玄関ホール



交龍館



育龍館

平成13年に完成した育龍館には、120人を収容できる校内食堂(1F)と、80人を収容できる宿泊施設(2F)があります。宿泊施設には、浴室や保健室も完備され、部活動の合宿や勉強合宿などに幅広く活用されています。

2階「宿泊施設」



学食

その他、玉龍高校には充実した設備がたくさんあります。平成28年3月に改装工事が終了した芸術棟では、美しく学びやすい環境で芸術の授業が受けられます。同じく3月に改装工事が終了した屋内プールでは、天候に左右されず年間を通して水泳を楽しむことができます。他にも平成26年3月に完成した2階建ての屋内弓道場など、玉龍高校ならではの施設が整っています。また、いつでも使用できるパソコン室やトレーニングルームもあり、生徒たちの自主的な活動を支援し、学習や部活動の活性化につながっています。令和5年にはタブレットを1人1台導入し、学習に活用しています。



美術室



音楽室



屋内プール



屋内弓道場



学習用タブレット



トレーニング室

玉龍と言えば 部活動でしょ!!



Culture

Sports

令和6年度
大会
出場記録

吹奏楽 合唱 書道 美術
家庭 放送 写真 百人一首
茶道 華道 JRCインターアクト
演劇 サイエンス 英語同好会

野球 バスケット 弓道 サッカー
バドミントン 卓球 ラグビー
バレーボール 陸上 剣道 硬式テニス
水泳 応援団 ソフトテニス

- 男子バレーボール部 令和6年度全九州バレーボール総合選手権大会(高校の部)県予選会 ベスト8 令和6年度第8回みゆき学園杯霧島盆地高校バレーボール大会 3位
第30回南薩・鹿児島地区高校生バレーボール大会 3位 令和6年度鹿児島市高等学校バレーボール大会 3位
第12回さつまカップ高校男子バレーボール九州選抜大会 3位 第52回鹿児島県高等学校新人バレーボール競技大会 ベスト8
- 女子硬式テニス部 第56回鹿児島県高校総体体育大会 団体ベスト8
- 男子バドミントン部 第59回鹿児島県高等学校バドミントン競技大会 団体ベスト8
- 女子バドミントン部 第59回鹿児島県高等学校バドミントン競技大会 団体ベスト8
令和6年度鹿児島県高校新人戦大会 団体ベスト8
- 弓道部 第69回全国高等学校弓道大会(女子団体) 出場
第70回鹿児島県高等学校弓道競技大会 女子団体優勝
令和6年度鹿児島県高等学校弓道選手権大会 女子団体第7位
第25回鹿児島県高等学校遠的弓道競技大会 女子個人優勝、第4位
令和6年度全九州高等学校選手権新人水泳競技大会 出場
- 水泳部 ・男子 団体: 4×200mフリーリレー、4×100mメドレーリレー 個人: 200m平泳ぎ、200mバタフライ、100mバタフライ
・女子 団体: 4×100mフリーリレー、4×100mメドレーリレー 個人: 200m平泳ぎ、100m平泳ぎ、200mバタフライ
第45回九州カップ水泳競技大会 出場(男子個人200mバタフライ、女子個人100m平泳ぎ)
第56回西日本年齢別選手権水泳大会 出場(女子100m平泳ぎ、女子200m平泳ぎ)
令和6年度(第86回末広杯)全九州高等学校選手権新人水泳競技大会 出場
・男子 団体: 4×100mメドレーリレー 個人: 200mバタフライ、100mバタフライ、50m背泳ぎ
・女子 団体: 4×100mメドレーリレー 個人: 100mバタフライ、200m平泳ぎ、100m平泳ぎ、50m平泳ぎ
第72回全九州高等学校水泳(競泳)競技鹿児島県大会
・男子 団体: 4×200mフリーリレー第5位、4×100mメドレーリレー第6位 個人: 200m平泳ぎ第7位、200mバタフライ第4位、100mバタフライ第5位
・女子 団体: 4×100mフリーリレー第6位、4×100mメドレーリレー第4位 個人: 200m平泳ぎ第3位、100m平泳ぎ第5位
第32回鹿児島県高校新人水泳大会
・男子 団体: 4×100mメドレーリレー第5位 個人: 200mバタフライ第2位、100mバタフライ第3位
・女子 団体: 4×100mメドレーリレー第4位 個人: 100m平泳ぎ第2位、200m平泳ぎ第2位、50m平泳ぎ第6位、50m平泳ぎ第7位、100mバタフライ第8位
- 剣道部 第71回全九州高等学校剣道競技大会 女子個人 出場
第72回鹿児島県高等学校剣道競技大会 男子団体3位、女子個人ベスト8
第46回鹿児島県高等学校勝ち抜き剣道大会 優勝
第69回鹿児島県高等学校新人剣道競技大会 男子団体準優勝、男子個人ベスト8
- 陸上部 第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会南九州地区予選大会 出場
第42回全九州高等学校新人陸上競技大会 出場
第77回鹿児島県高等学校陸上競技大会 男子110mH第5位、男子400mH第6位、女子100mH第7位
第79回鹿児島県陸上競技選手権大会 女子七種競技第6位、女子100mH第5位
第68回鹿児島県高等学校新人陸上競技大会 女子100mH第3位
- 野球部 第154回九州地区高等学校野球大会鹿児島県予選 ベスト8 第66回NHK旗争奪鹿児島県選抜高校野球大会 ベスト8
第30回MBC旗争奪高校野球選抜1年生大会 ベスト8
- ラグビー部 第11回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会鹿児島県予選大会 第3位
- 百人一首部 第8回全九州高等学校総合文化祭 福岡大会 小倉百人一首かるた部門 出場 第44回全国競技かるた鹿児島大会 E級 優勝
第33回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた読手コンクール 第8位
- 合唱部 第79回九州合唱コンクール 銅賞 第79回九州合唱コンクール鹿児島県大会 金賞・鹿児島県教育委員会賞
第32回鹿児島ヴォーカル・アンサンブル・コンテスト 金賞
- 書道部 第26回鹿児島県地区高等学校書道大会 高文連賞・優秀賞
- 写真部 第8回全九州高等学校総合文化祭 福岡大会 写真部門 出場
- 吹奏楽部 第51回吹奏楽ソロ・アンサンブルコンテスト 金管八重奏 金賞 第48回鹿児島県高等学校音楽コンクール(木管楽器部門/サクソフォン)金賞
第69回鹿児島県吹奏楽コンクール 銀賞
- 放送部 第46回九州高校放送コンテスト 出場 第46回九州高校放送コンテスト・鹿児島県予選大会 朗読部門: 優良賞 アナウンス部門: 優良賞
- 演劇部 令和6年度第33回鹿児島県高等学校演劇冬季県大会 優秀賞
- 美術部 第48回全国高等学校総合文化祭 岐阜大会 美術工芸部門 出場
第8回全九州高等学校総合文化祭 福岡大会 美術工芸部門 出場
第75回鹿児島県高校美術展 KTS鹿児島テレビ賞
- 英語同好会 令和6年度鹿児島県高等学校英語スピーチコンテスト 第2位
令和6年度朝日大学英語スピーチコンテスト 全国第3位
- 令和6年度九州高等学校英語スピーチコンテスト 第2位

『全体「挑戦」男子「飛躍」女子「粘り強く」』

特集1 剣道部

剣道部は、日々剣道を通じて心身の成長を目指している部活動です。部員一人ひとりが真剣に剣道と向き合い、努力を重ねています。剣道部は強い精神力、協力を大切にしながら、技術の向上を図っています。

稽古は、基本的な技術や動きの確認から始まり、試合形式での実践を通じて身につけます。部員たちは、先輩から後輩への指導を大切に、互いに切磋琢磨しながら成長しています。また、稽古中には先輩後輩なく声掛けをしてとても充実した稽古になっています。指導陣は経験豊富な先生方やOBによるサポートがあり、常に適切なアドバイスを受けながら技術を磨くことができます。試合では、勝敗を気にすることもありますが、私たちは結果だけではなく、過程も大切にしています。勝っても負けても、試合を通じて得られる学びがあり、それが次のステップに繋がると考えています。

鹿児島玉龍高校剣道部は、剣道を通じて心身を鍛え、仲間と共に切磋琢磨しながら成長していける場所です。剣道を学ぶことで得られる精神的な強さや礼儀作法、そして勝ち負けにこだわらず自己成長を重視する姿勢は、将来にわたって大いに役立つと思います。興味のある方はぜひ見学に来てほしいです。



『一射絶命』

特集2 弓道部



弓道部は「一射絶命」というスローガンのもと、全国大会出場を目標に練習を行ってきました。弓道において「一射絶命」には一本の矢に命をかけるくらい最善を尽くして弓を引くという意味が込められています。文武両道を掲げる玉龍として、精神力や思考力を磨

き、それらをいかして全国大会出場を目標に精進しています。昨年は念願叶って県総体で女子が優勝し、インターハイ出場という結果を残すことができました。さらに、遠的競技の県大会においても女子が優勝し、全国大会出場という結果を残すことができました。部員の中には高校から始めた初心者もありますが、普段の練習や他校との練習試合などを重ねながら技術と精神の両面を磨いています。真剣ながらも、楽しく練習に励んでいます。平日は2時間程度、休日は3~4時間程度の練習で、短い練習時間の中で他の強豪校に比肩する結果を得るべく、量より質の練習を心がけ、本番で動じない技術力と精神力を求めています。高校から弓道を始めたとしても、努力すれば上達します。実際に、昨年出場したインターハイの選手の中には、高校から始めた選手もいます。初心者だから入りづらいという心配は全くありません。弓道部に少しでも興味を持った方はぜひ見学に来てください。

『メリハリのある活動に』

特集3 書道部



私たち書道部は本校舎3階にあるアットホームな雰囲気のある書道室で学年関係なく楽しく活動しています。主な活動内容としては校内の作品展示や書道パフォーマンス、書道展や大会への出展で、楽しむときは思い切り楽しみ、作品を書くときは集中して取り組むというメリハリのある活動にすることを目標にしています。

書道展への出展については、一人ひとり書いている書体も題材も違うので個人戦のように感じられるかもしれませんが、私たちは先輩後輩関係なくお互いに書いた作品を鑑賞し合い、より良い作品になるよう意見を出し合うことも多いです。そのため個人で書いていても団体で取り組んでいるような気持ちになり、お互いを高め合うことで自分の持っている以上の力を発揮できます。これまでに、全国高等学校総合文化祭や九州高等学校文化祭へ県代表として参加したり、第26回鹿児島地区揮毫大会で高文連賞、第55回鹿児島県高校書道展で準大賞を受賞したりと、様々な書道展及び大会への出場や素晴らしい賞を受賞しました。さらに一年に3回ほど行う校内での書道パフォーマンスでは、観客が元気をもらえるような書道パ

フォーマンスにすることを目標に部員全員で一生懸命取り組んでいます。全員で行うため、息を合わせることがとても難しいのですが、書道パフォーマンスが終わった後は言葉で表すことのできない達成感が味わえます。



『一音入魂』

特集4 吹奏楽部

みなさんこんにちは！

私たち吹奏楽部は、現在中学生20名、高校生24名の計44名で『一音入魂』をモットーに日々楽しく活動しています。

昨年度は吹奏楽コンクールで銀賞、アンサンブルコンテストで金管八重奏が金賞を受賞しました。ソロの活動にも精力的で、宮日音楽コンクールや鹿児島県高等学校音楽コンクールなどに出場し、本選出場や金賞受賞などの成績を収めています。

現在は各学校行事、定期演奏会、吹奏楽コンクールに向けて練習しており、吹奏楽コンクールでの金賞受賞を一つの目標としています。

高校生が中学生に教えるだけでなく、中学生から教わることも多くあり、日々刺激しあいながら充実した活動ができています。中学と高校で練習時間が異なり、その差に苦しむこともありますが、「どういう練習を組めば短い時間で質の良い練習をすることができるか」、「高校生の練習時間との差を埋めることができるか」を考えるのは意外に楽しく、またそういう困難があるからこそ中・高で団結できるのではないかと思います。

先生方や保護者の方々の支えのおかげで活動できていることへの感謝を忘れず、音楽をとおして恩返しが出来るよう、これからも精進します。応援よろしくお願いします♪



アクセス MAP



■JR・JR九州バス

■市電

■南国交通バス

■鹿児島交通バス

■市バス

①JR 鹿児島駅鹿児島駅から徒歩15分

⑥桜島橋通から徒歩15分

②清水町下車7分

③上竜尾町下車5分

⑤玉龍高校前下車3分

②清水町下車7分 ④久保皮膚科前下車3分

③上竜尾町下車5分

玉龍HPの紹介

玉龍高校公式ホームページと進路室が発信している進路ブログがあります。是非見に来てください。



玉龍高校公式ホームページ

<https://www.keinet.com/gyokuk/>



鹿児島玉龍高等学校 進路指導部 Official BLOG

gyokuryuu.exblog.jp

玉龍高校進路ブログ

<http://gyokuryuu.exblog.jp>



お問い合わせ

〒892-0806 鹿児島県鹿児島市池之上町20番57号 TEL 099-247-7161 FAX 099-248-3160



鹿児島玉龍高等学校

KAGOSHIMAGYOKURYU HIGHSCHOOL